

NEWS RELEASE



セブン&アイ HLDGS.

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

2019年11月28日

セブン&アイ・ホールディングスが特定する「5つの重点課題」に基づく取り組み

人気の小容量惣菜シリーズ「カップデリ」を長鮮度化

—環境に配慮した容器の変更や商品の長鮮度化の取り組みを推進—

株式会社セブン - イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』で示している「食品ロス対策」の取り組みとして、首都圏のセブン - イレブン店舗（2019年9月末現在 全国：21,010店舗）で販売している小容量惣菜シリーズ「カップデリ」を鮮度延長し、来年春までに全国に順次拡大してまいります。

少量で食べやすく人気の「カップデリ」の製造工程を見直し、容器のフタにトップシールを採用することで店頭での販売時間を約1日延長するとともに、さらにおいしく品質向上いたしました。

セブン&アイ・ホールディングスで定める重点課題③「商品・原材料・エネルギーのムダのない利用」に対応し、店舗での販売時間を長くした商品を拡大することで、さらなる食品ロスの削減に取り組んでまいります。

セブン - イレブンは今後も、国内外に展開するセブン&アイグループの一員として、事業活動を通じた持続可能な社会づくりに貢献すべく、対応を強化してまいります。

-----<<取り組み>>-----

➢重点課題③「商品・原材料・エネルギーのムダのない利用」に対応



◆フレッシュフード商品 長鮮度化（賞味期限の延長）の取り組み

➢店に陳列できる時間が延びることで、店が品揃えしていないがニーズがある「機会ロス」と、店が品揃えしているがニーズがない「廃棄ロス」の両方を低減することが可能に

カップデリ 消費期限：約1日半 ⇒ 約2日半へ

製造工程の工夫、トップシールを採用することで長鮮度化

【全4アイテム】

<p><u>北海道男爵使用！</u> <u>ポテトサラダ</u> 188円+税</p> 	<p><u>6種具材のお豆腐と</u> <u>ひじきの煮物</u> 188円+税</p> 	<p><u>コールスローサラダ</u> 188円+税</p> 	<p><u>たことプロッコリー</u> <u>ポテトのバジルサラダ</u> 248円+税</p> 
---	--	---	--

【ご参考】

・2009年
「チルド弁当」
消費期限：約1日→約2日半



・2010年
「惣菜」の一部
消費期限：約1日半→約2日半



・2011年
「スパゲティ」
消費期限：約1日半→約2日半



・2018年
「サンドイッチ」の一部
消費期限：約半日→約1日



・2018年
「惣菜」の一部（中華系おかず等）
消費期限：約1日半→約2日半



・2018年
「サラダ」の一部
消費期限：約1日半→約2日半



★設備・技術のイノベーションを通じて、美味しさや「安全・安心」を保ちながら「長鮮度化」を推進してまいります。

【セブン&アイ・ホールディングスの重点課題】

「社会課題解決」と「企業価値向上」の両立を図り、社会になくてはならない企業を目指す

(主な取組み)

重点課題1 高齢化、人口減少時代の 社会インフラの提供		<ul style="list-style-type: none">・お買物支援サービス：ネットコンビニ、ネットスーパー・行政サービス：各種証明書発行等
重点課題2 商品や店舗を通じた 安全・安心の提供		<ul style="list-style-type: none">・食品添加物の低減・減塩・低カロリーなどの商品開発・野菜工場の取組み
重点課題3 商品、原材料、エネルギーの ムダのない利用		<ul style="list-style-type: none">・食品廃棄物の削減、長鮮度化・フードバンクへの寄付・環境配慮型容器素材の開発
重点課題4 社内外の女性、若者、 高齢者の活躍支援		<ul style="list-style-type: none">・セブンなないろ保育園・時差出勤(スライドワーク)制度の導入・子育て支援イベントの開催
重点課題5 お客様、お取引先を巻き込んだ エシカルな社会づくりと資源の 持続可能性向上		<ul style="list-style-type: none">・ペットボトル自動回収機・お取引先CSR監査・「セブンの森」森林保全プロジェクト・お取引先様向けの内部通報制度・間伐材を利用した容器の推進

■ 『GREEN CHALLENGE 2050』特設サイト

URL : https://www.7andi.com/csr/g_challenge.html



セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、
全てのステークホルダーの皆様とともに取り組んでまいります。

以 上